

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！



力をこめて一点集中

6月2日(日)、板倉町弓道場で第1回板倉町弓道大会が開催されました。

記念すべき第1回大会には町内外より100名を超える参加者がありました。参加者は真剣な面持ちで直径36cmの霞的を目掛けて矢を放ち、日頃の練習の成果を競い合いました。



ごみのない町を目指して

6月4日(火)、町職員会が町内美化運動を実施しました。およそ120名の職員が退庁後に大蔵公園・資源化センター・飯島山周辺に別れ、ごみ拾いを実施しました。集められたごみの量は軽トラックの荷台3台分にのぼりました。町職員会では定期的に町内美化運動を実施しています。



祝！ サッカーW杯本戦出場

6月4日(火)、東洋大学板倉キャンパスで2014FIFAワールドカップアジア最終予選のパブリックビューイングが行われました。試合前には東洋大学女子サッカー部メンバーの紹介イベントなどが行われました。日本代表は見事本戦の出場権を手にし、訪れたかたたちは喜びを分かち合いました。



板高生が手植えに挑戦

6月10日(月)、板倉高校の生徒18名が「チャレンジタイム2農業体験」の一環で、もち米の手植え体験学習をしました。生徒たちは慣れてくると手際よく苗を植えました。2年生の川島麗奈かわしまれいなさんは「何気なく食べているお米も作業をしてみると大変さが分かりありがたいと感じます」と話しました。



万が一に備える

6月23日(日)、中央公園運動場で、第17回板倉町総合防災訓練が開催されました。この訓練は、各防災機関の防災活動に関する責任の自覚と技術の向上に資すると共に、地域住民の防災に関する理解と防災意識の高揚を図ることを目的に実施されました。風水害、地震、大規模火災などのさまざまな災害を想定し、行政区役員、消防署、警察署、役場職員も含めた関係機関及び団体約800名が参加しました。



同日早朝には避難訓練も実施されました。この避難訓練は茨城県南部を震源とした地震により板倉町では震度6弱の地震を観測し、町内において家屋倒壊や火災の発生、ライフラインが停止するなどの被害が出ているとの想定で行われました。各行政区が中心となっている自主防災組織の連絡網を活用するなどして避難を呼びかけたところ、防災講習会の実施や東日本大震災以後の防災に対する関心の高まりから、2,688名の町民のかたがたが指定の避難所に避難しました。



スポーツを通じて地域間交流

6月16日(日)、「町民ひとり1スポーツ」を合い言葉に、スポーツを通じて世代間、町民間交流を図ることを目的として、第23回町民スポーツフェスティバルが開催されました。

結果は次のとおりです。

<総合>		<輪投げ>	
優勝	第27区	優勝	第27区
<ソフトバレードッジボール>		<ニチレクボール>	
優勝	第3区	優勝	第25区